希望を胸 熱き血潮 汝な が故郷 胸に行方も知った は 明に身は溢れる は 何処に れ にありや」 ども 'n ず

い 出。 でん

聳ゆるポ。 渺。 だっぽっ 遙かな大地は何語るらん !の地に理想を秘めて パプラは何な をか象徴 Ù

真摯の道を歩みゆかん

逍 遙 の詩静寂に透

日輪幽寂に 朱に染まらん哉原始の森はしゅんない 曠野を一人ゆく吾 佇の ひとり われたたず に手稲の端にて 'n め

> 嗚ぁ 呼ぁ 熱き心を語り明かせよ 白銀の季節寮舎に在りてはくぎんときすみかあ 己身に嘆けども憂愁はやまず 寮友を 及よゆうべ の 瞑想い

北溟の大地は我が故郷かきたがだがあることがある。 新緑にみる自然の黙示したりょく の故郷